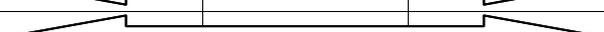


行財政改革大綱後期実施計画

実施事項名	介護保険料の収納率の向上						重点項目番号	6																		
現状、問題点、必要性 (なぜやるのか)	【現状】 介護保険課で収納を担当する普通徴収分の平成19年度収納率(3月末現在)は81.01%となっている。						番号	②																		
	【問題点、必要性】 介護保険被保険者の不公平感を解消し、市財政における歳入を確保する。						担当課(執行する課)	健康福祉部介護保険課																		
	【現状の客観的な説明】 平成19年度の三重県内の市の収納率の平均値は81.44%であり、当市の収納率は県内14市中9位である。						責任者名(執行責任者)	介護保険課長 中出 富一																		
							担当課電話番号	26-3940																		
対象等(なにが、だれが)	介護保険料納税義務者及び滞納者						【金額】 3,578千円 【算定根拠】 目標数値欄で設定した収納額で算出した。収入額は平成19年度調定額をベースとした。 平成20年度収納額-平成19年度収納額=1,180千円 平成21年度収納額-平成20年度収納額=1,199千円 平成22年度収納額-平成21年度収納額=1,199千円 特記事項 保険料収納は、65歳到達等で最初は普通徴収であっても、半年前後で年金天引きになる。しかし、新たな被保険者が次々発生し、天引きにならない人は無年金や年金担保での借入者なので収納が困難で、普通徴収分の収納率については、劇的な改善は望めない。																			
成果(対象がどうなるのか)	介護保険料納税義務者が納期どおりに納入する。滞納者が完納する。																									
実施する内容・目標数値 (対象を成果の状態にするために、何を、いつまでに、どのようにやるのか)	【実施内容】 口座振替推進等の納付環境を改善する。滞納者に対する納付相談・電話相談・臨戸徴収等を定期的実施する。																									
	【目標数値】 <table border="1" data-bbox="456 785 1281 880"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>19</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収納率(%)</td> <td>81.01</td> <td>82.00</td> <td>83.00</td> <td>84.00</td> <td>85.00</td> <td>86.00</td> </tr> <tr> <td>収入額(百万)</td> <td>97</td> <td>98</td> <td>99</td> <td>100</td> <td>101</td> <td>103</td> </tr> </tbody> </table> 3月末現在 【目標の客観的な説明】 平成22年度の目標収納率84.00%は、現在の県内14市中6位となる。また、平成19年度収納額と比較して、3,578,420円の歳入増となる。												年度	19	20	21	22	23	24	収納率(%)	81.01	82.00	83.00	84.00	85.00	86.00
年度	19	20	21	22	23	24																				
収納率(%)	81.01	82.00	83.00	84.00	85.00	86.00																				
収入額(百万)	97	98	99	100	101	103																				
目標を達成するための活動指標(全体目標を達成するために個別に実施する項目) (何をどれだけやるのか)	活動指標名	目標値	定義・算定式			行程表(いつまでにやるのか)																				
							平成20年度		平成21年度		平成22年度															
							4月	10月	4月	10月	4月	10月														
	口座振替推進	50%	平成19年度48.25%																							
	納付相談・電話催促	随時																								
	臨戸徴収の実施	各滞納者年2回																								
口座振替推進の目標値については、口座振替になってもすぐに年金天引きになり、新たな被保険者が次々発生するので、口座振替を推進しても、急激には割合は増加しない。																										